

第14期第3四半期業績のご報告
(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

平成 22年 6月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当四半期におけるわが国経済は、中国を中心とするアジア向け輸出の増加による生産活動の回復と、景気刺激策の効果から個人消費にも持ち直しの動きが出始めています。しかしながら、所得環境や雇用環境は依然として厳しく、予断を許さない状況が続いております。

駐車場業界においては、不動産および建設市況の悪化を起因とした土地の暫定的な活用手段としたコインパーキングニーズが継続しており、この開発環境は堅調に推移いたしました。また、企業業績の回復が見られ始めたことから、それに伴って業界全体としてコインパーキングの稼働率が上昇を続けております。

このような外部環境の中、当社は首都圏を中心としたコインパーキングニーズの高い地域にて販売促進の強化を図り管理車室数を拡大致しました。特に大型案件取組やクオリティの高い精算機の導入など、今後への基盤作りを図って参りました。

また、分譲マンション事業に関しましては、購入補助金100万円や、フラット35Sの金利引下、住宅ローン減税(最大500万円へ)、贈与税非課税枠拡大(最大1,500万円へ)などの政府の支援策や企業業績の回復などが追い風となり、販売は堅調に推移しております。

以上の結果、第3四半期の売上高は1,408,624千円(前年同期比79%)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年比
CPシステム運営事業	615,418千円	88%
CPシステム販売管理事業	513,303千円	125%
プロパティマネジメント事業	78,767千円	94%
分譲マンション事業	201,053千円	34%
その他	82千円	59%